

# うっかり超銀河ケータイ

(第1回)



如月かずさ 藤田ひおこ・絵

縦長の画面にならんだ、色とりどりのアイコン。タッチ  
Iがそのひとつに指でふれると、アイコンがピコッと反応  
して、メールの画面に切りかわった。

「ほら、こうやってメールを打つわけ。普通のケータイよ  
りずっと打ちやすいしょ」

タッチは早くも上級者っぽい指さばきで、買ったばか

りのケータイをあやつってみせた。

帰り道のメンバーはいつもどおり、ぼくとタッチとガ  
ミとミノル。ガミとミノルはタッチの新ケータイに夢中  
で、目の前の信号が赤に変わったのにも気づいていない。  
信号信号、とみんなに注意してから、ぼくもタッチの持  
っているケータイを見た。